

工学部分館における利用者アンケートに関する報告

1. はじめに

工学部図書委員会は、工学部・理工学研究科(工学系)の係る中期目標である、教育効果を高める学生支援体制の確立に向け、工学部分館の協力のもとに学生図書の充実を図ってきました。このたび、その成果を検証し、今後の活動に活かすことを目的として、工学部の卒研究生および理工学研究科の修論生を対象にアンケートを実施しました。

結果として、回答者の7割から現状を肯定する評価が得られた反面、蔵書の不足や、利用上の不便などへの不満の声も多数寄せられました。こうした生の声は、今後の図書館運営にとっても貴重な情報となります。

アンケートへのご協力に感謝するとともに、工学部分館が学生の皆さんの勉学に、より一層役立つ存在となることを願っています。

工学部図書委員長 山中一雄
(工学部分館長)

2. 調査対象

・修論生(理工学研究科博士前期課程2年生)	250人	(日立地区)
・卒研究生(工学部4年生)	753人	
計	1,003人	

3. 調査期間

平成25年12月9日(月)~同18日(水)

4. 調査方法

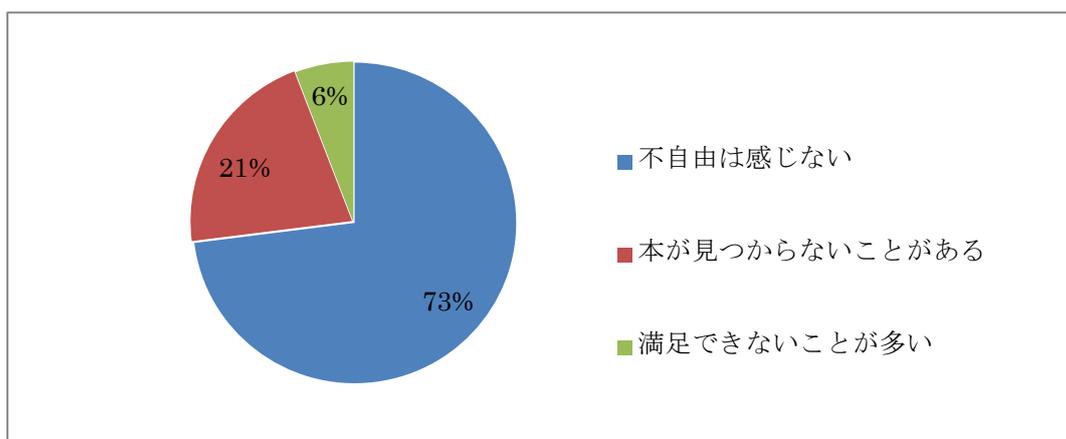
[「アンケート用紙」](#)を各指導教員を通じて配布・調査

5. 回答数

	人数	調査対象者数比(%)
修論生	179	71.6
卒研究生	284	37.7
計	463	46.2

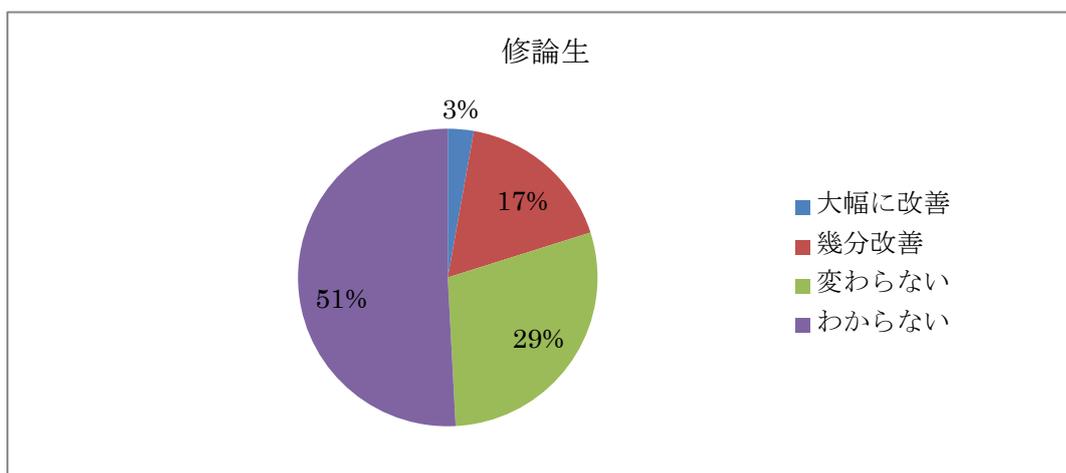
6. 集計結果の概要

6-1. 現在の蔵書は勉学に役立っているか

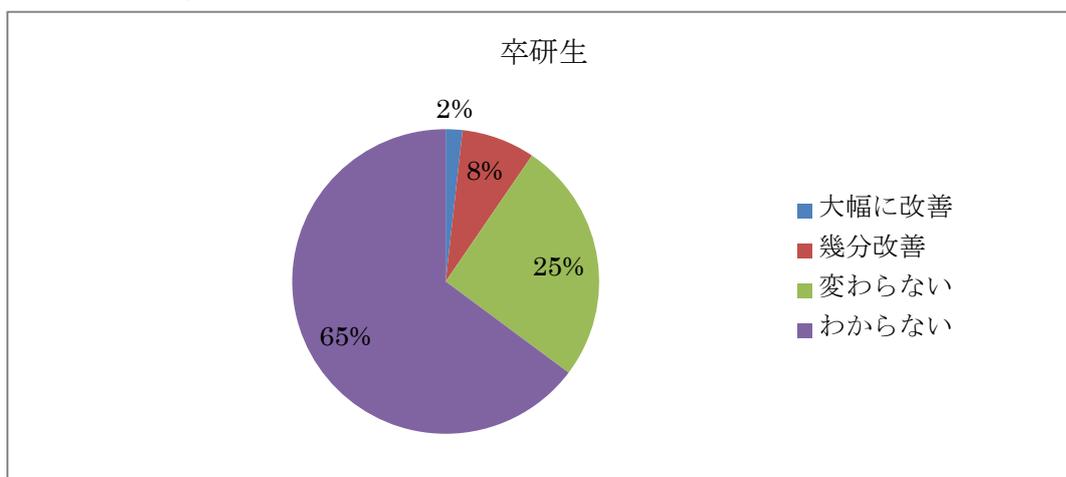


6-2. これまでの3年間で蔵書に関する状況はどのように変わったか

6-2-1 修論生



6-2-2 卒研究生



7. 集計表

質問	回答項目	修論生(人)	%	卒研生(人)	%	計(人)	%
		179	100	284	100	463	100
1. どのくらい利用しましたか	週1回以上	13	7.3	16	5.6	29	6.3
	週1と月1の間	48	26.8	80	28.2	128	27.6
	月1回未満	118	65.9	188	66.2	306	66.1
2. シラバス掲載の参考書を利用したことがありますか	よくある	7	3.9	16	5.6	23	5.0
	ときどきある	80	44.7	120	42.3	200	43.2
	ない	92	51.4	148	52.1	240	51.8
3. 蔵書は役立っていますか	不自由は感じない	131	73.2	207	72.9	338	73.0
	本が見つからない	39	21.8	59	20.8	98	21.2
	満足できない	9	5.0	18	6.3	27	5.8
4. これまでの3年間でどのように変わりましたか	大幅に改善	5	2.8	5	1.8	10	2.2
	幾分改善	31	17.3	22	7.7	53	11.4
	変わらない	52	29.1	73	25.7	125	27.0
	わからない	91	50.8	184	64.8	275	59.4

8. 自由記述

[「自由記述一覧」](#)参照

担当
 茨城大学学術企画部学術情報課工学部分館係
 電話 0294-38-5012
 E-mail ko-tosho@ml.ibaraki.ac.jp